

町田地区保護司会だより

第123号

発行 町田地区保護司会
会長 木目田賢市
編集 広報部
TEL 042(794)6791



本町田遺跡（都指定史跡）



御挨拶

町田警察署長 五十嵐 真慈

町田地区保護司会の皆様方には、平素より警察業務全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。とりわけ少年の健全育成につきましては、我が子を慈しむと同様の献身的な活動に心から敬意を表します。

令和7年中に都内において非行少年として検挙・補導された少年は、約5,000人で前年に比べ170人程度増加しています。一方、町田署におきましては、令和7年中に検挙・補導した少年は、約150人で、前年に比べ、40人ほど増加しています。また、虐待を受けた児童として都内で扱われた人数は、前年より減少してはおりますが、依然として1万人を超える水準となっております。

犯罪をくり返す少年の中には、両親の不和であったり、生育環境が複雑であったり、あるいは交友関係に問題があるなど、様々な事情を抱え困っているケースが少なくないことから、しっかりと立ち直らせるためには、今後とも保護司の皆様との連携が不可欠であります。

町田署といたしましては、今後とも少年の健全育成のため、保護司の皆様方と強い連携を結び、少年の規範意識の向上と立ち直り支援に取り組んでいきたいと考えております。

引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町田地区保護司会の益々のご発展と皆様方のご活躍を祈念し、御挨拶とさせていただきます。

令和8年 町田地区保護司会

新春の集い・表彰状伝達式

総務部 青木 仁

令和8年1月22日、町田市文化交流センターにおいて「新春の集い・表彰状伝達式」を開催しました。新年を祝う本会の恒例行事であり、来賓の方々や会員が参加し、終始和やかな雰囲気の中で進行了。当日の出席者は、合わせて86名でした。

【第1部 表彰状伝達式】

長谷川副会長の司会進行及び開式の辞により開会された後、木目田会長が挨拶を行いました。会長からは、新春を迎えてのお祝いの挨拶から始まり、お忙しい中ご出席いただいた来賓の方々へのお礼の言葉、受章者の方々の永年のご功績を讃える言葉があり、そして年頭にあたり、保護司会の今後の取組や活動に対する意気込みが語られました。

続いて、会長から令和7年度春の叙勲、秋の褒章を受けられた方へ記念品が贈られました。表彰状の伝達は、東京都保護観察所立川支部・田中光寿統括保護観察官から行われ、受章者のこれまでの貢献に対し、表彰状と記念品が贈られました。

続いて、来賓の方々からご祝辞を頂戴いたしました。ご祝辞は、田中統括保護観察官を始め、町田市・石阪丈一市長、町田市議会・木目田英男議長、町田警察署・五十嵐真慈署長、町田地区桐友会・石川洋一郎会長から賜り、来賓の方々からは、受彰者を讃え、保護司やご家族の方への慰労とともに、保護司会の今後の活動に対する期待や激励の言葉がありました。その後、来賓の方々の紹介がありました。

次に、令和7年度第6ブロック保護司組織運営連絡協議会において、町田地区保護司会の行った意見発表の再演が実施されました。第6ブロック協議会当日と同様、発表は一村弘幸保護司、スライドのパソコン操作は高梨栄史郎保護司が担当しました。

【第2部 祝宴・懇親会】

吉川副会長の司会進行、更正保護法人鶴舞会・小林聡施設長の乾杯のご発声により、新春の集いの懇親会が開宴しました。会場内は、席を巡る方がいたり、挨拶や談笑に溢れ、終始和やかな雰囲気に包まれながら歓談が行われました。

豪華景品が用意された恒例のお楽しみ抽選会も実施され、当選者が発表されると至る所から拍手や歓声があき起こり、会場は一層盛り上がりしました。

そして、来賓の方々もご参加いただき、分区毎に写真撮影を行いました。その後、桐生副会長の閉会の辞があり、楽しい時間は過ぎるのが早いもの、名残惜しみながらのお開きとなりました。

お忙しいところご出席いただいた皆様方に感謝申し上げますとともに、準備や当日の進行にご尽力いただいた皆様にお礼申し上げます。



木目田会長挨拶



第6ブロック 意見発表の再演



恒例のお楽しみ抽選会



堺分区



忠生分区



鶴川分区



町田分区



南分区・鶴舞会

令和7年度 受章者・受彰者名一覧

春の瑞宝双光章

宮本 幹雄

秋の藍綬褒章

鈴木 幸夫

法務大臣表彰

木目田 賢市・吉原 修・矢口 昇

全国保護司連盟理事長表彰

笠原 秀子・石川 好忠

関東地方更生保護委員会委員長表彰

大野 操・千田 章一・青木 仁
安西 周三・山口 尚美

関東地方保護司連盟会長表彰

村田 政良・榎本 茂生・河合 正行
田林 久嗣

東京保護観察所所長表彰

白岩 満智子・藤野 慶正・井上 博之
廣瀬 哲夫

東京都保護司会連合会会長表彰

奥澤 高広・小林 克之・浅野 史津香
久住 博隆・原 康之

全国保護司連盟理事長表彰 (家族功労)

木目田 律子



管外研修後記

研修部 田林 久嗣

寒さも増した早朝、集合30分前にはほとんどの方が集まり流石と感心しました。予定通り出発した私達を快晴の日本平で富士山が出迎えてくれました。久能山東照宮に向かうには、日本平山頂から下降するという珍しいロープウェイに乗りました。家康公の墓前に皆で参拝した後、豪華な昼食で舌鼓を打ちました。



続いて本命の静岡刑務所に到着し、施設概要の講習を受けて施設内を見学しました。行事の関係で受刑者との対面はありませんでしたが、どの刑務所でも共通して感じる重苦しい威圧感を受けたのは私だけでしょうか。

見学後、皆で受刑者が製作した刑務作業品を購入して静岡刑務所を後にしました。帰りの車中では、皆で活発に意見交換をした反省会で大いに盛り上がりました。

今回も皆様のお陰で有意義な研修になりました事を心よりお礼申し上げますと共に、次回も見聞を深める研修を実施したいと思います。



久能山東照宮参拝



静岡刑務所見学

第6ブロック協議会に参加して

町田分区 久保寺 治

令和7年度第6ブロック協議会が10月15日に東京たま未来メッセにて開催されました。当番地区は八王子地区保護司会で、協議題は昨年引き続き「“社会を明るくする運動”について考える」でした。

町田地区では木目田会長以下総勢21名での参加となり、私も委員として選出され参加しました。全6回の地区協議会にて協議委員の様々な意見を

発表者
一村弘幸 保護司

意見書としてまとめました。私は保護司としてまだ2年目で、委員の皆様の意見を理解できないことが多々あり、内容についていくことで精一杯でした。しかし、多くの意見や思いを聞くことで、保護司として私自身

がどう活動に参加し、どのように考えればよいのか、また行政との役割分担等についての議論は特に勉強になり、多くのことを考えさせられました。

当日の発表では、町田地区の発表がスライドを活用したわかりやすい内容で参加者から好評をいただきました。また、他地区の発表では、複数の行政区、広範囲にわたる分区があるなどの町田地区とは違った課題があることも理解できました。

これらの発表から、行政だけでなく他団体への働きかけの重要性を感じることができました。これまでの成果とこれからのあるべき姿を今後も継続して議論していくべきだということもわかりました。

さらに、これだけの内容の濃い議論をすることができた協議会ですので、各分区から選出された協議委員だけでなく、各分区でも内容の共有、協議をしていくとよいのではないかと感じました。



町田地区の発表

協力事業主紹介

株式会社 恵神

代表取締役 田形 剛 様



今回協力事業主としてお話を伺ったのは、昨年5月に行われた「令和7年度町田地区更生保護事業協力事業主総会」で、新たに協力事業主会の会長に就任されました株式会社『恵神』の田形 剛社長です。



川崎営業所にて

○どんなお仕事をされている会社ですか？

給排水・空調・換気・ガス・電気の設備工事など生活に欠かせない業務を中心にっております。また、設備工事に付帯するリフォーム・塗装・基礎・外柵・足場等の工事も協力会社が

多数あり、一括請負をしております。

○なぜ協力事業主となられたのですか？

8年前に代表取締役となり、6年前にオーナーとなったのですが、『恵神』は先代のオーナーの時に協力事業主となり、そのまま引き継ぎました。そして、知らないうちに会長になってしまいました(笑)。

○会社のアピールポイントがありますか？

「ライフラインを通じてお客様にSMILEを」をコンセプトにしています。厳格な社内基準 (Strict) ・匠の技

術(Master)・感動する仕上がり (Impressive)・業界を牽引(Lead)・環境への配慮 (Environment) のそれぞれの頭文字を繋げるとSMILEとなり、これを“笑顔”と共にお客様に届けます。

○何か伝えたいことはありますか？

現在は希望がなく対象者を雇用しておりませんが、門戸は開いております。一方、技能実習生として9名のインドネシア人が働いております。昨今日本での技能実習を希望する者が多く、すぐに日本で技能実習ができるように現地に日本語学校を立ち上げました。また、日本で技能を身に付け母国に戻ったときに、それが生かせるような受け皿となる会社を3年以内に設立する予定です。

田形社長は20歳半ばで島根県から裸一貫で出てこられ、50歳を過ぎた現在もたくさんの夢をお持ちになっており、まだまだスタートだとおっしゃっていました。対象者へも、人生は長いので、多少の間違いがあっても投げやりにならず、夢や希望を持ち続けて生きていってほしいとおっしゃり、私自身もたくさん勇気をいただいた訪問でした。ありがとうございました。

(広報部 佐川 雅夫)

令和7年度多摩連祝賀会

総務部長 小山 洋子



令和7年12月12日多摩地区保護司会連合会主催の受彰祝賀会がホテル エミシア東京立川で開催されました。受彰者をご来賓、多摩連理事総勢100名が集い、町田地区からは、藍綬褒章の鈴木幸夫さん、法務大臣表彰の木目田賢市さんと矢口昇さんが参加されました。

第一部ではご来賓の多摩連会長の土方三男様、東京保護観察所長の杉山弘晃様からご挨拶を賜り、当日出席された受彰者の紹介がされ、東京保護司会連合会長の松本真由美様、東京更生保護女性連盟副会長の田中恵美子様よりご祝辞をいただきました。受彰者を代表して八王子地区の新野照代さんよりの謝辞が述べられました。

続いて行われた第二部は、多摩連顧問の前田善一郎様のご発声による乾杯に始まり、終始和やかな雰囲気包まれておりました。恒例の抽選会では豪華賞品をかけて盛り上がり、最後は多摩連副会長の木目田賢市様の閉会挨拶で幕を閉じました。



会場の様子



町田地区 参加受彰者



町田地区 参加者集合写真

分区活動で社明運動を呼び掛け

堺分区 廣田 昇克

晴天に恵まれた10月12日に相原中央公園で「相原ふれあいフェスティバル2025」に参加し、秋の地域活動を実施しました。午前8時に集合し、横溝分区長の挨拶後、配布物の準備をしました。開始してすぐに駆けつけた木目田会長、長谷川副会長も一緒に来訪者へ保護司の役割や再犯防止を呼びかけました。用意したゴム風船、ボールペン、活動チラシ、塗り絵など配布したものは、午前中に全部なくなるほどの盛況で、地域活動を滞りなく午後3時30分に終了しました。



秋の地域活動

来年は配布物を更に増やし、広報活動をより一層充実したものにしていきたいです。

忠生社会参加活動

忠生分区 久住 博隆

11月23日忠生分区毎年恒例の社会参加活動が、対象者7名を含めた多くの参加者のもとで開催されました。本年度は、忠生市民センターより3班に分かれ、道路のゴミ拾いを行いながら、地域の公園（市立根岸からさわ公園）まで清掃を行いました。対象者の少年たちも、すれ違う近隣の方たちに元気よく「こんにちは!!」などの挨拶をしながら一生懸命ゴミを拾いました。また、「こんなに気持ちの良い活動なら毎週でもやりたいな」や「学校の校外活動みたいで楽しいな」のような声が聞こえてきたのが印象的でした。最後は手作りカレーを食べ楽しく活動を終えました。



忠生社会参加活動

第31回鶴川地区地域懇談会・講演会

鶴川分区 梅本 明宏

11月15日に、第75回「社会を明るくする運動」の一環として、第31回鶴川地区地域懇談会・講演会が、鶴川市民センターで開催されました。

この講演会は、「社会を明るくする運動」鶴川地区推進委員会が主催し、地域内の小中学校及び各PTA、町内会自治会・連合会他、地域の皆様の協力によって開催される催しです。



当日の様子

今回は、「子どものスマホトラブル（SNS等）の現状と対策について～子どもがスマホトラブルに巻き込まれないように～」と題し、講師としてソフトバンク（株）CSR本部 五條眞樹様に依頼し、講演を行いました。参加人数は47名でした。

榎本茂生 鶴川分区長の開会の辞に始まり、桐生敏子 副会長の挨拶、鳥海理瑛子 主任保護観察官の来賓挨拶、保護司に関するショートムービー鑑賞に続き、本題の講演に入りました。



当日の様子

講演はスライドを使い、スマホの所有率や利用状況等、私たちの生活に欠かせないツールとしての利便性や危険性を踏まえ、どのように活用したら良いのかをわかりやすく説明していただきました。

スマホは、情報収集やコミュニケーション等便利な面もありますが、その反面、詐欺や誹謗中傷等犯罪に関わることも少なくありません。子どもだけではなく、私たち大人もトラブルが起きないように注意して利用しなければならないことを痛感致しました。

スマホは、情報収集やコミュニケーション等便利な面もありますが、その反面、詐欺や誹謗中傷等犯罪に関わることも少なくありません。子どもだけではなく、私たち大人もトラブルが起きないように注意して利用しなければならないことを痛感致しました。

最後に、仲村清彦 鶴川地区町内会・自治会連合会会長の閉会の辞で講演会を終了いたしました。

社会参加活動に参加して

町田分区 伊藤 右学

12月、町田市子ども創造キャンパスひなた村で行われた社会参加活動に、昨年に続き2回目の参加をしました。対象者に加え、町田分区の保護司11名、東京保護観察所立川支部の鳥海主任保護観察官、町田市役所、BBSからも参加され、連携の取れた体制での実施となりました。

当日は炊事・清掃・たきび焚火の各班に分かれ、緑豊かな環境の中で役割を分担し、声を掛け合いながら作業を進めました。昼食では、かまどで炊いたご飯のカレーや熾火で焼いたお芋を囲み、和やかな交流の時間となりました。



町田分区 社会参加活動

本活動を通じ、地域で役立つ経験が自己肯定感や社会性を育むことと、立ち直りを地域で支える意義を改めて実感しました。今後も人とのつながりを大切にして支援に取り組みたいと思います。

南分区の現状とこれから

南分区 廣瀬 哲夫

私、南分区で副分区長をしております廣瀬と申します。今年度から宮本分区長から木村分区長に代わり、分区のシステムも少し変わりました。分区の案内や出席確認がほぼSNSに代わりました。それにより全員が情報を共有できるようになりました。

また12月4日に受章祝賀会と歓送迎会が行われました。そこで宮本前分区長の瑞宝双光章の受章紹介と木目田会長、吉原会員、矢口会員の法務大臣表彰の紹介がありました。長

年に渡りご活躍ご苦勞様でした。

2月27日に分区自主研修として昭島市の拝島大師及び石川酒造見学に行きました。3月末には、恩田川の町田さくらまつりに参加し保護司会の活動を広げたいと思います。



受章の花束贈呈

講演会及び食事会の開催について

鶴舞会施設長 小林 聡

9月7日、当会3階多目的ホールにて開催した講演会は、特定非営利活動法人ジャパンマツクの生活支援員で公認心理師でもある塚田朋之氏の協力をいただきました。

当会には、アルコールや薬物依存といった生きづらさを抱える者が少なからずおります



更女の皆様とカレー

が、今回は、性依存からの回復支援をテーマに約1時間にわたり講話をいただきました。

講演後は、町田地区更生保護

女性会の皆様に「夏野菜カレー」を作っていただき、塚田講師も交えて美味しくいただきました。在会者の表情はいつになく穏やかであり、時を忘れさせる和やかな食事会となりました。関係者の皆様、ありがとうございました。



講演会にて

法務大臣表彰受彰して



南分区
木目田 賢市

このたび法務大臣表彰を賜り、身に余る光栄と存じます。保護司として22年、保護司会の皆様や関係機関の支えがあってこそこの受彰です。今後も初心を忘れず、更生支援と安全な地域づくりに尽力してまいります。



南分区
吉原 修

このたびの法務大臣表彰の栄誉に、身の引き締まる思いです。お陰様で多くの皆さまにお支えいただき活動を続けることができました。今後も更生保護と再犯防止に力を尽くし、立ち直りを支える社会づくりに努めてまいります。



南分区
矢口 昇

令和7年度の顕彰式典において図らずも本表彰の栄に浴し光栄に思っています。20年に満たない保護司活動として、対象者の更生への導きと保護司会の会務に携わりました。この多くの経験が自身を磨く大いなる糧となりました。本受彰は保護司会の皆様方のご指導、ご鞭撻の賜物と思います。感謝申し上げます。任期は余すところ僅かではありますが職務に邁進してまいります。

新任保護司ご挨拶



鶴川分区
福見 千尋

このたび、保護司を拝命いたしました。先輩保護司の皆様の支えをいただきながら、更生に取り組む方々に寄り添い、少しでも力になれるよう努めてまいりたいと思います。ご指導のほど宜しくお願い致します。



忠生分区
浅沼 芳征

木曾西で「蔵家」という酒販店を経営しております。保護司活動を通じて、生まれ育った地元へ微力ですが貢献できれば幸いです。先輩方、ご指導宜しくお願い致します。

編集後記

『町田地区保護司会だより』第123号をお届けいたします。取材協力と寄稿されました皆様にお礼申し上げます。

巻頭写真「本町田遺跡」の縄文時代と弥生時代の復元住居を見学しました。2軒とも竪穴住居で外観はほとんど同じですが、内部の掘立柱が丸太と角材の違いがあります。縄文人と弥生人は違うはずなのに、この建築様式が何千年も続いてきたそうです。不思議ですね。次号も町田市の遺跡を紹介していきますので楽しみにしてください。

(広報部 村田 政良)

退任保護司ご挨拶

鶴川分区
長山 昇

平成23年9月17日保護司の委嘱を受け、令和7年9月16日退任いたしました。在任中は大過なく任務を全うすることができました。これも皆様方の温かいご指導があったからこそと心より感謝いたします。

振り返ってみますと、前職と併せて65年間罪を犯した人達に携わらせていただきましたことは大きな生きがいとなりました。

最後に町田地区保護司会の発展と皆様方のご活躍を心から祈念いたします。

南分区
細野 直人

令和7年9月16日に保護司を退任いたしました。平成5年に委嘱を受け、皆様よりご指導ご鞭撻を賜り無事に任期を務めることが出来ました。心より感謝申し上げます。

鶴川分区
安藤 元厚

令和7年12月31日付で退任されました。保護司会活動にご協力いただきありがとうございました。

(町田地区保護司会一同)